

任意
団体

逗子ゼロ・ウェイストの会

代表者 共同代表 田中 尚武
海野 保子

設立 2009年5月

住所 逗子市



実績

心地よい逗子ライフをより充実させるため、廃棄されてしまう資源の回収やその有効活用、焼却に頼らない廃棄物処理などを促進し、持続可能な資源循環型社会「ゼロ・ウェイストのまち逗子」実現に向けて、逗子市及び市内環境諸団体、市民と協働しています。7Rとは、リデュース・リユース・リサイクル・リフューズ・リフォーム・リペア・レンタルです。特に逗子市民交流センター内で実施していた「エコ広場すし」はリユースの場を超えて、高齢者や若い家庭等のコミュニティの場としても好評でした。

在宅傾聴により
高齢者を守る活動
NPO法人ビーイング久里浜



▲「聴き上手な男」になる講座



▲東日本大震災の支援活動にも参加
地元の方と触れ合った

NPO 法人
ビーイング久里浜

代表者 理事長 前田 房子

設立 2009年4月

住所 〒239-0846
横須賀市グリーンハイツ
1番1-505号

実績

一人暮らしの方や外出が困難な方、様々な理由で寂しい思い、不安な気持ちを抱えている方は、信頼して話せる人がいたらどんなに心強いでしょう。私どもは、地域包括支援センターと連携し、傾聴の基本を身につけたボランティアが直接ご自宅を訪問し、その方のお気持ちに寄り添う活動をしています。「あんたに話して楽になった」、その笑顔が活動を支えています。現在、29名のボランティアが月1回訪問、今まで172名の方にお逢いしました。



身近な物で作る家庭防災の実践と 「防災減災パワーズブック」の発行

女性防災クラブ平塚パワーズ

任意
団体
**女性防災クラブ
平塚パワーズ**

代表者 会長 菅野 由美子

設立 1996年5月

住 所 平塚市



▲柏市女性向け防災講習会 雨合羽作りの体験



▲JICAの研修 応急手当の体験

実績

女性目線を防災に生かそう！をテーマに、地域のニーズに応える防災活動を23年間すすめてきました。2019年度は平塚市内外の小学校、中学校、看護大学などで段ボールトイレ、防災頭巾、日ごろの備えなどをを使った講座を行いました。また、前年に続きJICA（国際協力機構）の研修を行い、バングラデシュ・ブータンなどからの8名の研修生と、「女性のリーダーシップ能力の向上の必要性」をテーマに、グッズの紹介や活発な意見交換を行い、「防災の種（シーズ）を世界にまいて花を咲かせよう」と締めくくりました。

09 ボランタリー活動奨励賞

ハイキングしながらゴミを拾う
クリーン活動及び山道の安全見守り、
縁の保全活動を通じて社会に貢献する

ハイキング・クリーン

任意
団体

ハイキング・クリーン

代表者 代表 御法川 齊

設立 1977年4月

住所 鎌倉市

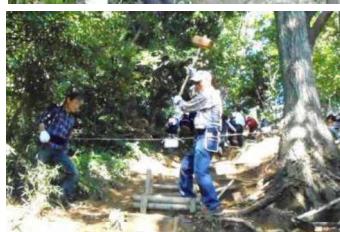
実績



▲滑落者をロープで助ける



◀ 散在ガ池公園
外周にて協働・
剪定作業



◀ 大仏コースにて
階段補修作業

鎌倉を中心に県内を活動範囲として、40年に亘りハイキングしながら誰でも出来るゴミ拾いを常々と継続しています。また、行政とも連携し、安全見守り、山道の整備の三位一体・有機的活動を行っています。なお、当団体が主導した各種マナー向上に関しては2019年4月に施行された鎌倉市のマナー条例に反映されました。最近はSDGsのプラごみフリー活動へと深化させつつあります。

一方で、最近は次世代への伝承を目指し、小中高生への啓発・協働作業の実施及び整備活動は他の類似活動団体(町内会/NPO TSKI 緑の保全活動、NPO みどりのレンジャー等)との協働作業により、人と人、及び地域との繋がりを重視した方向を目指しています。

10 ボランタリー活動奨励賞



子育て支援や学童保育、子ども食堂、
高齢者の見守り電話など、
幅広い分野での社会ニーズをとらえた活動

特定非営利活動法人地域福祉を考える会

認定
NPO

**特定非営利活動法人
地域福祉を考える会**

代表者 理事長 宮森 孝史

設立 2004年10月

住所 〒259-1142
伊勢原市田中 256-1-301



▲こども食堂の様子



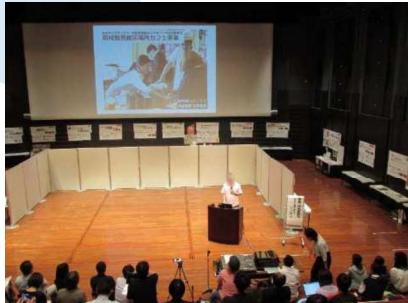
▲学習支援活動

実績

「人を孤立させない地域づくり」をモットーに、
高齢者・障がい者を対象とした「友愛電話活動」
「成年後見活動」「けんこう・つなぐ・うたごえ活
動」や、子ども支援として「子育てひろば・きらき
ら」「児童コミュニティクラブ(学童保育)」「いせ
はら・みらい・クルリンこども食堂」「こども食堂・
天 sora キッチン」「学習サポートみらい・つなぐ」
など、特定の対象や事業に限定せず、地域課
題をタイムリーに捉えて多様な地域づくり活動
を展開してきました。

Gallery かながわボランティアフェスタ 2019.9.29

基金 21 終了事業成果報告会



ステージ
パフォーマンス

フェアトレード品や
手作り品の販売



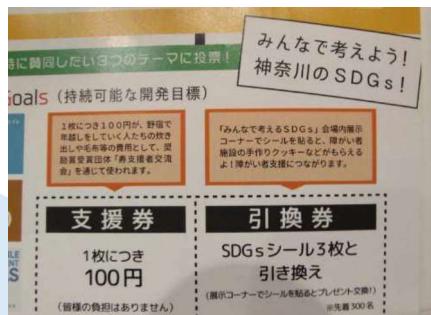
さまざまな団体の
活動がわかる
展示ブース



マスコットキャラクター
「かにやお」と
遊ぶ子どもたち



参加者に
SDGsについて
考えてもらう
取組



最後はみんなで集合写真を撮りました！

かながわボランタリー活動推進基金 21
事業を実施しているボランタリー団体
(OB 団体含む) が相互に連携・協力しながら、
その活動を社会に発信するイベント「かながわボランティアフェスタ」を開催しました。

11 ボランタリー団体成長支援事業



プロボノ・プラットフォーム構築事業

特定非営利活動法人サービスグラント

Check !
＜事業基本データ＞

実施期間 2018 年度

委託料 7,200 千円

活動

神奈川で「プロボノ」の文化を根付かせるために

神奈川県内のボランタリー団体の運営基盤強化を目的として、企業人等の経験・スキルを活かし、団体の課題解決を行うプロボノプロジェクトを立ち上げ、運営しました。

2018 年 5~6 月にかけて、支援を受けるボランタリー団体と支援を行うプロボノワーカーを募集するために、県内各地にて 7 回の説明会を行いました。その結果、団体を支援するための 12 件のプロジェクトが立ち上がり、58 名のプロボノワーカーが参加することとなりました。

プロジェクトは、2018 年 9 月 8 日に開催したオリエンテーションを皮切りに、3~6 ヶ月の期間を通じて、団体に対して具体的な成果物(パンフレット・チラシ、運営マニュアル、調査資料など)を作成し、納品しました。また、プロジェクト成果について紹介する総括イベントを 2019 年 3 月 9 日に実施しました。

加えて、翌年度以後も持続可能な運営を実現できるよう、神奈川県内の中間支援団体に対してプロボノのノウハウを学んでいただく勉強会を計 3 回開催し、7 団体 11 名に参加いただきました。

成果

団体の課題解決につながる具体的な成果物を提供

全チームが、関係者へのヒアリングや調査を踏まえ、団体の課題解決につながる具体的な成果物を提供しました。ボランタリー団体へのアンケートでは、全団体から「支援を受けてよかったです」と評価されました。また、成果物による課題解決だけでなく、「団体内部で活動に関する共通認識ができた」「スタッフのモチベーションアップにつながった」といった副次的な効果もありました。

プロボノワーカーのアンケートでは、8割の人が「社会問題やNPO・地域団体に対する見方や考え方方が変わった」「ボランティア活動に関する興味関心が高まった」と回答していました。さらに、プロジェクト終了後も個人的にボランティアとして団体に関わるなどの新しいつながりもできました。

中間支援団体に対する勉強会では、参加者のうち4団体が翌年度のプロボノプロジェクトの運営に携わり、持続可能な運営への足掛かりを得ることができました。



担当者のコメント

**代表理事
嵯峨 生馬さん**

事業の審査時点から、地域に根付く仕組みづくりを目指してほしいという宿題をいただき、そのことを念頭に置きながら取り組みました。目標を超えるプロジェクト件数を実現できたことに加えて、県内の中間支援団体とのつながりが生まれ、今後、プロボノの文化が神奈川県内に根付く一歩目を踏み出せたことは大きな意義があったと感じます。



▶ 支援先団体に成果提案をするプロボノワーカー



▶ 支援先団体が作っている色とりどりのたわしをデザインに取り入れたパンフレット

★ 参加団体の声 ★

●「内容・デザイン共に素晴らしい成果物となりました。プロフェッショナルと第三者の視点の必要性を認識できたことは大きかったです」(認定 NPO 法人地球市民 ACT かながわ/TPAK／支援内容:パンフレット作成)

●「団体の抱える課題に寄り添って一緒に考えてくださった上で、時代の流れを踏まえて法人の進むべき方向性のヒントを提案していただいた。スタッフも意識変革が芽生えました」(認定 NPO 法人びーのびーの／支援内容:企業営業のための課題整理)

**認定
NPO**

**特定非営利活動法人
サービスグラント**

代表者 代表理事 嵐嶋 生馬

設立 2009年5月

住所 〒150-0002
渋谷区渋谷 1-2-10
中里ビル 4F

活動紹介 NPO や地域活動団体に対し、スキルやノウハウ等を提供するプロボノプログラムを通じて、認知拡大、支援者の獲得といった運営基盤の構築等を支援しています。